

平成26年12月25日

保護者 様

尼崎市立浜田小学校

校長 多田 弘

### 平成26年度全国学力・状況調査について

本調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること、また、学校における教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に行われました。小学校6年生の児童を対象に、国語・算数の2教科について、前学年までの指導内容を原則に実施されました。ただ、本調査により、測定できるのは、学力の特定の一部で、学校における教育活動の一側面に過ぎません。しかしながら、学校としましては、結果を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かしていきたいと考えています。

#### 1. 各教科の概要

##### (1)国語

全国平均をやや下回っています。

##### (2)算数

全国平均を下回っています。

#### 2. 各教科の観点別・領域別の状況（全国平均との比較）

【国語】観点別では、「話す・聞く能力」は、全国平均とほぼ同じです。「書く能力」・「読む能力」、「言語についての知識・理解・技能」については全国平均をやや下回っています。

【算数】観点別では、「数学的な考え方」・「数量や図形についての技能」・「数量や図形についての知識・理解」とも全国平均より低い結果です。領域別では、「数量関係」においてほぼ全国平均と同じレベルです。

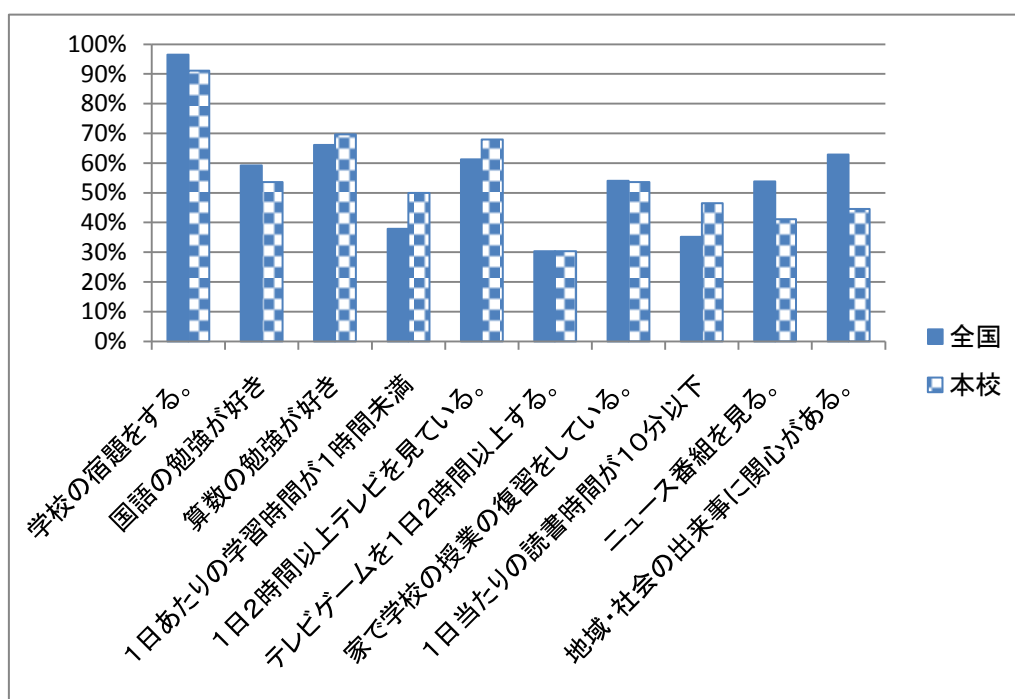
#### 3. 学校や家庭での子どもの様子や意識

##### 【復習を大切に】

「ほぼ毎日家で宿題をする児童」の割合は91%であり、「家で授業の復習をどちらかといえばしている」の割合が54%とほぼ半数の児童が、授業の復習をしていると答えています。授業の内容を復習することは、学習した内容を定着させるためには、とても大切な学習方法です。学校の宿題以外にもその日の授業で考えたこと・先生が話したこと・友達の発表したこと等をノートに書きだして振り返るのも1つの方法です。

### 【家庭学習時間の確保を大切に】

「テレビ・DVD等の視聴時間が2時間以上（テレビゲームをする時間を除く）」（本校67.9%・全国平均61.3%）、「1日あたりのテレビゲームをする時間が2時間以上」（本校30.3%・全国平均30.3%）とほぼ全国平均となっています。昨年度に比べ、テレビの視聴時間やゲームをする時間が短くなっています。「1日の家庭での学習時間が1時間未満である」（本校49.9%・全国平均37.9%）「1日当たりの読書時間が10分より少ない」（本校46.5%・全国平均35.2%）となっています。宿題以外にも上記のように、1日の学習を振り返ることは学習内容の定着には有効な学習方法です。また、読書については、物事を創造する力を養うことにも繋がります。社会で起こっている出来事に興味を持ったり、知ったりするためにニュースを見たり、新聞を読んだりすることも良いことです。



#### 4. 本校の取組について

##### (1) 見通しを持って学習に取り組む

本年度、本校において見通しを持って学習に取り組む研究を行っています。見通しを持って学習に取り組むことは、学習に対する意欲の向上に繋がります。なぜ、この学習を行うのか、今習っていることが、どんな学習に繋がっていくのかといったことを考えるようになって欲しいと願っています。

##### (2) 学習習慣を身に付ける

本年度も引き続き、低・中学年を対象に週1回放課後学習として放課後学習指導員を配置して子ども達の宿題をサポートする機会を設け、学習習慣を身に付ける一助としての取組を行っています。